

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

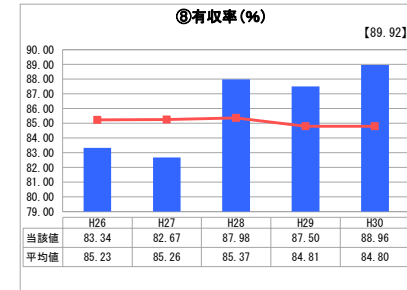
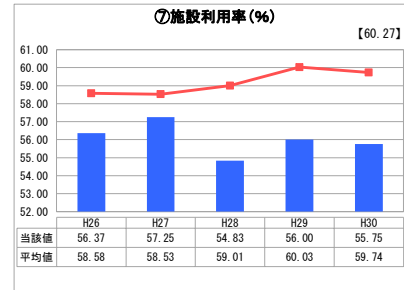
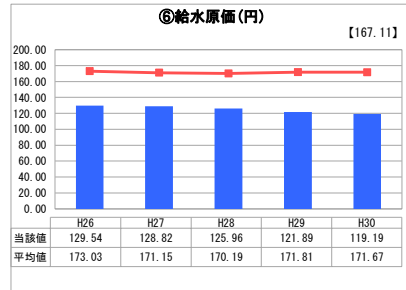
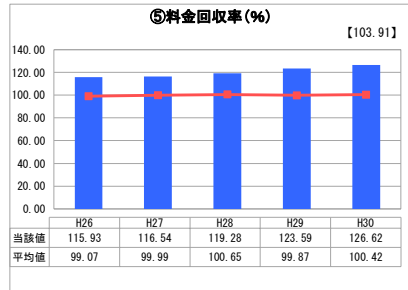
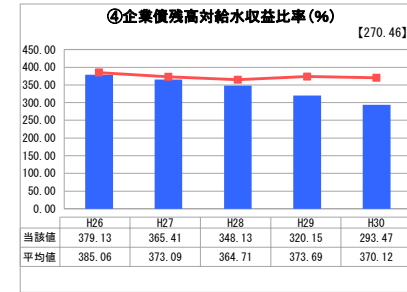
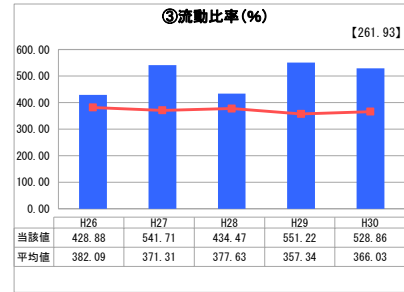
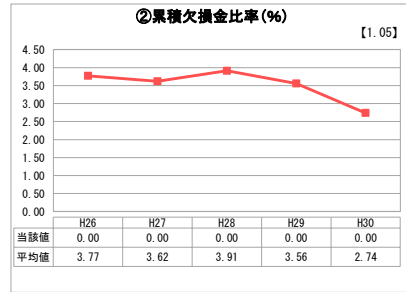
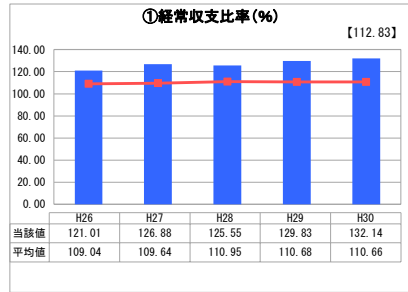
栃木県 壬生町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	75.00	94.67	2,991	

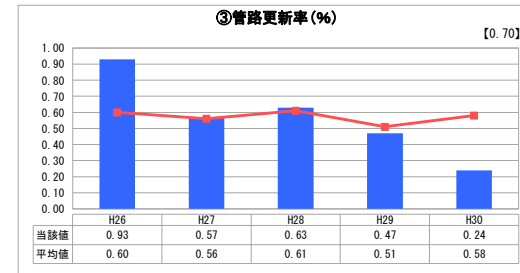
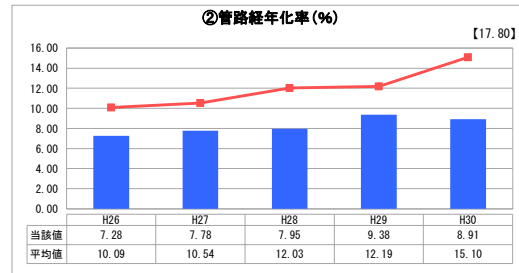
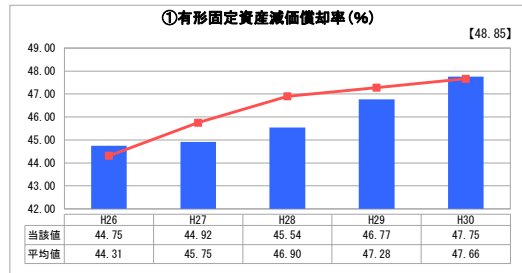
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
39,526	61.06	647.33
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
37,312	20.04	1,861.88

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

「①経営収支比率」、「③流動比率」及び「⑤料金回収率」は100%を上回っており、健全経営が維持されている。「②累積欠損比率」については、累積欠損が発生していないため0%が維持できている。「④企業債残高対給水収益比率」については、年々減少してきたが、今後は大規模な施設の更新が予定しているため、数値の悪化が予測される。「⑥給水原価」は、類似団体と比べても低い水準を維持出来ているが、更なる費用の削減や投資の効率化を図る必要がある。「⑦施設利用率」については平均値を下回る数値となっているが、今後施設の更新により「⑧有収率」と併せて改善が図れる見込みである。

### 2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」、「②管路経年化率」とも増加傾向であるが、平成29年度に策定したアセットマネジメントをもとに、水道施設の適切な更新を勧めていく予定である。また「③管路更新率」については類似団体の平均を下回っているが、漏水調査を実施し効率良く管路の更新を実施しているためであり、今後も水道施設の長寿命化を図りながら、計画的に更新を実施していく予定である。

## 全体総括

経営比較分析の結果によると、比較的安定した経営状況が維持出来ている。今後は、水道事業を戦略的に進めていくために、「壬生町水道ビジョン」で策定した「安全」で「強靱」な水道を「安定」的に経営していくことを目指す。